

平成24年度第2回食の安全に関する勉強会の開催案内

テーマ 「新食品表示のあり方と規制の仕組みなどを考える」

目的 消費者庁により設置された「食品表示一元化検討会」は平成24年8月に報告書を公表しました。その後、同年11月には新食品表示制度に関する意見募集を行うとともに、「新食品表示制度についての意見交換会」を行ったところです。食品表示に関する一元的な法律「新食品表示法（仮称）」は平成24年度中の法案提出を目指すと考えております。

食科協においては、表示制度のあり方について、より詳細であるべき、より分かり易いものであるべきなど多くの意見が寄せられていることを踏まえて、23年度から「食品表示を考える」・「食品表示一元化論点整理を考える」・「食品表示の現状と課題～食品表示一元化について」をテーマに勉強会等を開催してきたところです。

今回、新食品表示法（仮称）案の策定作業進捗についての情報がありませんが、これまでの経過や問題を整理し、消費者の食品選択に当たり、より適切な表示に関する法律・制度のあり方について、最新の情報を得るとともに、再度考えることを目的とします。

日時 平成25年2月8日（金） 13時から16時50分まで

場所 一般財団法人 日本科学技術連盟 本部3号館2階講堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11 TEL：03-5843-2051

プログラム

開会挨拶 関澤 純(NPO 法人食品保健科学情報交流協議会理事長)

(1) 講演1 「新食品表示制度について(仮題)」

平山潤一郎(消費者庁食品表示課首席食品表示調査官)

(2) 講演2 「食品表示一元化検討会報告と新食品表示制度について(仮題)」

池戸重信(宮城県産業技術総合センター 副所長兼バイオ技術部長、宮城大学特任教授)

(3) 講演3 「新食品表示制度」食品事業者の立場から

森 修三(財団法人食品産業センター企画調査部次長)

(4) 講演4 「新食品表示制度」生協の立場から

鬼武一夫(日本生活協同組合連合会品質保証部安全政策推進室長)

(5) パネルディスカッション

司会 森田満樹 (NPO 法人食品保健科学情報交流協議会常任理事)

パネリスト 上記4名の演者 食のコミュニケーション円卓会議代表 市川まりこ

参加費 食科協会員 1,000円

(賛助会員は1会員につき、2名様を無料とします。)

非会員 3,000円